

令和6年第23回定例公安委員会会議録

開催日時 令和6年8月29日（木）午前11時7分～午後3時16分

開催場所 警察本部、西部地区運転免許センター（リモート）

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時21分

2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 笠田委員

警察本部 野村警察本部長 森本警務部長 宮田首席監察官
細田生活安全部長 前田刑事部長 山本交通部長
樋口警備部長 濱本警察学校長 坂口情報通信部長
居組智頭警察署長 吉村警務部参事官

（事務局等～岩城公安委員会補佐室長、総務課員）

3 議題事項

4 報告事項

- 第48回広報用写真コンクールの開催結果（警務部）
- 大会出場報告（警務部）
- 令和6年上半期における人身安全関連事案への対応状況（生活安全部）
- 9月中の入校及び訓練概況等（警察学校）
- 智頭警察署の取組（活動）状況（智頭警察署）

（1）第48回広報用写真コンクールの開催結果（警務部）

警察本部

広報用写真コンクールは、警察職員の広報活動に対する関心を高めるとともに、

応募作品を警察庁等の各種広報資料に広く活用し、もって警察広報の推進に資することを目的に開催している。出品総数100点のうち5点について、特選、一席、二席、佳作を入選作品として、特別審査員及び一般審査員により投票を行い、選出した。入選作品を含む上位20作品を、警察庁主催の全国コンクールに出品するほか、全ての応募作品については、ホームページ、広報紙、パンフレットなどに掲載し、各種広報活動等に活用していく。

委員

審査会に参加させていただいたが、100点の出品数ということで、どれもすばらしい力作ばかりであった。職員の方の感性・知性・レベルの高さを感じた審査会であり、今後、広報活動に活用していただけたらと思う。

委員

冬の大山という、厳しい環境で県民を守っていただいていることが良く分かる写真など、様々な角度から撮影された良い写真が選出された。来年の審査会も、期待している。

委員

どの作品もすばらしい写真だった。コンクール写真を活用し、県警察の広報に力を発揮してもらいたい。

(2) 大会出場報告（警務部）

警察本部

9月中は、二つの術科大会に出場する。一つ目の大会は、令和6年度全国警察柔道・剣道選手権大会で、9月3日、日本武道館で開催される。選手は、柔道が2人、剣道が4人でうち2人が女性である。二つ目の大会は、令和6年度中国四国管区内警察逮捕術大会で、9月18日、広島県立総合体育館で開催される。

委員

柔道、剣道、逮捕術ともに、できるだけ高い極みを目指して頑張ってください。

委員

毎年剣道の全国大会を拝見しているが、レベルが高い都道府県もあり、広島県警察は昨年個人で優勝していた。全国大会では、相手に胸を借りるつもりで、思い切り試合をしてきてもらいたい。逮捕術に関しても、各都道府県警察がスキルアップを目指し、日々頑張っていると思う。非常に重要なスキルであるので、今後につながるような大会としていただけたらと思う。

(3) 令和6年上半期における人身安全関連事案への対応状況（生活安全部）

警察本部

本年上半期のストーカー事案の相談件数は、前年同期より4件少ない30件となっている。相談を受理した際は、相談者に係る被害が拡大する前に、事案の危険性や切迫性を慎重に判断し、初期段階における相手方に対する口頭指導や関係機関との連携、引継ぎなどによって、相談者が被害に遭わない環境づくりをはじめとした警察として取り得る措置を、相談者の意向を汲みながら積極的に講じている。上半期中、ストーカー規制法に基づく行政措置について、警告・禁止命令の発出はなかったが、警告の発出を必要とする事案、禁止命令の発出を必要とする事案をそれぞれ1件認知しており、7月・8月中に実施した。

本年上半期の配偶者暴力事案の相談件数は、前年同期より3件多い94件となっている。検挙件数については、前年同期より5件少ない15件となっているが、個々の事案に応じ、事件化を図っていくようにしている。また、DV事案認知後における重大事案への発展を防ぐため、婦人相談所などの関係機関との連携を強化し、被害者の保護対策を手厚く実施している。

本年上半期の児童虐待事案認知件数は、前年同期より42件多い104件となっている。当県においては、令和元年から、児童相談所が受理した児童虐待事案についても、全件共有として情報提供を受けている。全件共有の件数についても、前年同期より43件多い236件となっている。検挙については、児童の安全確保を最優先とした事案対処を行う上で、事件化が最善と認められるものについて、刑事部門と連携しながら積極的に事件化を図る方針としている。

児童相談所等との連携状況について、児童虐待事案の多くは、事件が家庭内で発生することが多く、事件の潜在化が問題となっている。全国的には、事件が発覚した時には既に手遅れだったという事案がいまだに発生している。警察・児童相談所等が緊密な連携をとり、時期を失することなく適切に対処することが重要となっている。令和4年から、臨検・捜索に係る児童相談所からの援助要請受理件数が全国で増加しており、令和5年も同水準であった。全国的な背景を受け、当県でも臨検・捜索が必要となる事案の発生に備え、児童虐待に関わる警察や児童相談所の職員、各自治体の担当職員を対象に、模擬訓練を中心とした研修を実施している。職員個々の知識や技能の向上、関係機関との連携強化を図っている。今後も、児童虐待事案に適切に対応していく。

委員

被害を受けている本人が声を上げづらいのは、児童虐待事案だと思う。県民に対し、些細な情報でも提供していただけるような広報を実施し、悲劇が起こらないようにしてほしい。

委員

ストーカー事案、配偶者暴力事案について、検挙数が減少してきているのは、警察等の対応が功を奏しているからだと思う。警告なしでも禁止命令を発出できるとのことであり、被害に遭わない環境づくりをしっかりといただいております、有り難い。

児童虐待事案に関し、全件共有の件数が増加しているが、事件検挙件数が減ったのは、初期段階で以前より踏み込んだ対応をしていただいているおかげかと思う。家庭内での事案を適正に把握・処理するのは非常に難しいところであり、教育やしつけか、それとも虐待かというところの判断がつかず、潜在化しやすい。毎年、全国では死亡につながる事案が発生している状況であり、児童を守るためにも、関係機関との連携を強化し、悲劇が起こらないようにしていただきたい。

委員

計上されている件数が新規のみとのことで、継続案件を含めると、対応すべき件数がかなり多いのかと思う。大変な仕事であるが、児童相談所等と連携しながら引き続き適切な対応をお願いします。

(4) 9月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

警察本部

9月中の入校関係については、採用時教養が初任科2課程である。専科は、被害者支援専科等、5課程が入校予定である。

9月中の行事・訓練関係等は、公安委員長による訓育のほか、部外講師を招いた障がい者講習、薬物乱用防止講習等を予定している。

8月中の行事・訓練関係等は、初任科第99期生の卒業試験、第100期生の中間試験、各種検定、水上安全法訓練、本部長による訓育等を実施又は実施予定としている。

委員

行事、訓練、訓育等を積み重ねておられ、立派な警察官が育成されていると感じている。部外講習として、特別養護老人ホームに行かれたり、薬物乱用防止講習等、多岐にわたる教養をされていると思う。引き続き、教養・訓練をお願いします。

委員

多くのカリキュラムがあると毎回感じているが、一生懸命頑張っておられ、試験も順調に成績が向上していると伺った。初任科第99期生は、入校期間が残り約1か月となり、同期の絆が深まってきているのではないかと思います。最後までしっかりと頑張ってください。

委員

初任科第99期生は、卒業まで約1か月とのことであり、ここからが本番だと思う。自分を信じて頑張ってもらいたい。

(5) 智頭警察署の取組（活動）状況（智頭警察署）

智頭警察署

智頭警察署長から、交通事故を受けての取組のほか、若手とベテラン署員の融合、地元の県立高校との連携、関係機関との連携について説明がなされた。

委員

様々な取組をしておられ、大変素晴らしいと感じた。交通事故を受けての取組について、佐治町は昨年の台風被害に引き続き、令和2年以来の死亡事故が発生したとのことであり、住民の方々のショックも大きかったのではと思う。警察が寄り添っているということ、是非住民の方に示していただければと思っている。若手とベテラン署員の融合について、事案件数が少ないことから、実戦的総合訓練を毎月実施されているということであった。取り扱う事案が少ないと経験不足に陥るので、このような訓練は大変重要だと思う。引き続き、訓練を行っていただきたい。地元の県立高校との連携について、若い人との連携は地域にとって重要だと考えるので、今後もしっかりと取り組んでいただきたい。関係機関との連携について、智頭急行沿線警察署長会議を開催されているとのことであったが、県を跨いで連携は大変重要なことだと思うので、今後もお願いしたい。最後に、特殊詐欺被害等の未然防止について、感謝状を贈呈されたとのことであったが、スマートフォンがあれば、山間部地域であっても特殊詐欺の被害に遭ってしまう時代である。今後も特殊詐欺対策をお願いしたい。

委員

交通事故の発生場所は、農村の中の長閑な平穏そうな道であるが、死亡事故の検証をしっかりと実施していただきたい。小学生対象の出張職場体験実習等を実施されるとのことであるが、小学生にとって警察官は、なりたい職業の上位に位置するので、印象に残るように実施していただきたい。

智頭急行沿線警察署長会議について、非常に有意義な会議をされていると感じた。近年、想定外の災害等が発生している状況にあることから、是非検証を重ねていただき、有事に備えていただきたい。

智頭警察署管内は、日本を代表する中山間地域で、長閑な田園風景が広がり、智頭杉の綺麗な山が沢山ある地域である。引き続き、町民、県民の安全安心を守っていただきたい。

委員

地域に密着した警察活動をされていることが良く分かった。警察署内の平均年齢が段々と下がっているとのことであり、変革の時代と捉えている。ベテランの方、若い方が融合し、出張型の職場体験イベントを計画されるなど、新しい物事の考え方・視点を学ばれており、すばらしいと感じた。隣県と智頭急行沿線警察署長会議を実施しておられるが、隣県から学ぶ点は多くあり、有意義な会議であると思うので、継続していただきたい。引き続き、地域の方と密着しながら、新しい分野にも挑戦していただけたらと思う。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取4件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

令和6年上半期における人身安全関連事案への対応状況

4 報告事項

- ・大規模災害における警察活動の高度化
- ・「鳥取県民の警察官」表彰受賞者報告

5 決裁

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。